

## 2023年度第7回ホームカミングデー開催報告

横浜商科大学では、卒業生の方々に母校を親しんでいただくため、また本学の二層の発展に資することを目的とし、定期的にホームカミングデーを開催し、大学と卒業生との交流の場を設けております。2009年10月に第1回ホームカミングデーを開催してから、2023年度で7回目になります。なお、前回の第6回ホームカミングデーにつきましては、新型コロナウイルス感染症防止の観点から開催を断念しています。新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことを踏まえ、この度晴れて11月4日(土)に、第7回ホームカミングデーを開催することができました。

開催日につきましては、現役の学生との交流を楽しんでいただくことも兼ねて、本学の大学祭(飯山祭)の開催日と合わせました。

また、横浜商科大学同窓会と共催することで同窓会の総会に参加された方が、ホームカミングデーの各種イベントにも参加できるような時間帯に設定いたしました。

今回のホームカミングデーでは、卒業生だけではなく一緒に来られたご家族にも楽しんでいただけるようなイベントをご用意しました。例えば、プロサッカーチーム横浜FCと本学の学生が協力し、子どもを対象とした「サッカーキックターゲット



ト」を実施した他、新しい研究棟(新8号館)のお披露目を兼ねた施設の見学会、プロ奏者による手回しオルガンの演奏、卒業生からいただいたお品も交えた抽選会、硬式野球部による報告会、等を実施いたしました。

また懇親会においては、お食事やお飲み物の他、海外を含め日本全国にある同窓会の支部会からお送りいただいた数々の名産物もふるまわれました。

今回のホームカミングデーには、卒業生とその同伴者、松本英二元理事長をはじめとした退職者もお見えになりました。懇親会の会場は、旧友人を超える方々にご参加いただきました。懇親会の会場は、旧友や恩師といった懐かしい方々との再会の場となりました。懇親会の最後には参加者全員で校歌を斉唱するなど、和気藹々と和やかなムードに包まれ、非常に盛況でした。

この度、ホームカミングデーを盛況のうちに無事開催できたのも、卒業生の皆様の母校に対する熱い想いと、同窓会をはじめ多くの方々にご協力いただいた賜物であると、厚く感謝申し上げます。

次回(第8回)のホームカミングデーにつきましては、今回参加が難しかった方も、是非お越しいただけますよう、大学教職員一同、心よりお待ちしております。



## TOPIC 1

### 第4回女子学生ガイダンス

#### 「ゆるふわサロン」が開催されました

4月5日(水)、この春横浜商科大学に入学した新1年生を対象に「第4回女子学生ガイダンスゆるふわサロン」が開催されました。



当日は新1年生を含めた約40名の学生がイベントへ参加。先輩学生とのフリートークやレクリエーション、三菱UFJ銀行による「大学生の消費者デビュー」クレカライフのはじめかた」など、さまざまなコンテンツを通じて女子学生同士の交流を深める時間となりました。



## TOPIC 2

### 東本ゼミ

#### 国際交流基金の「交流学習マッチングシステム」を通じて発展したオンライン国際交流

東本ゼミでは国際交流基金の「交流学習マッチングシステム」を通じて、中国・河北工業大学や韓国・建國大学、台湾・致理科技大学、アメリカ・ピッツバーグ大学、ブラッドフォード校と、メールやZoomを通じて国際交流を行っています。コロナ禍でもできる国際交流として2021年よりCOOL協働授業を展開、さまざまな国の大学とのFlat Stanley Projectに取り組んできました。今回はその内の1校である中国・河北工業大学から「往来が困難な時期でも友情と語学学習の意欲を育まれた御礼」として十二支の菜やオーナメント、オリンピックのパンダキーホルダーといった贈り物が届きました。



## TOPIC 3

### AI時代に対応できる人材育成を

#### 「データサイエンス教育プログラム」がスタート

本学では、2023年度春学期より全学生を対象とした「データサイエンス教育プログラム」をスタートしています。

これは、情報をもとに新たな価値創造や課題解決を行うデータ駆動型社会で、「データサイエンス・AI」に関する知識・技能を習得し、情報倫理の必要性を理解した上で、社会における課題解決のために基礎的なデータ活用を実践できる人材を育成します。

## TOPIC 4

### 永野智久准教授の研究テーマが

#### 公益財団法人JKKAの研究助成事業として採択されました。

2023年度公益財団法人JKKAより競輪公益資金による体育事業その他の公益の増進を目的とする事業に関する研究補助の募集に関して、商学部経営情報学科スポーツマネジメントコース永野研究室の永野智久准教授の「女子サッカー選手の競技能力向上において、既存の体力的な側面ではなく、心理的な側面からオープンスキルにおいて重視される認知的なスキルの獲得を促進するための有益な情報を得ること」を目的とする研究テーマが採択されました。



## TOPIC 5

### 「高大連携」

#### 横浜商科大学は那須高校と高大連携に関する協定を結び、第1回目の出前授業を実施しました

5月25日(木)栃木県立那須高等学校において、横浜商科大学と那須高等学校との高大連携事業に関する協定の調印式、第1回目の出前授業が行われました。

この高大連携事業は、大学と高校の教育交流を通じて、高校生の視野を広げ、



高校生の進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、大学教育の求める学生像及び教育内容への高校生の理解を深め、高校教育・大学教育の活性化を図ることを目的に行われます。

那須高等学校には観光リゾート科があることから、本学とは観光分野を中心とする出前授業をおこなっており、高大連携事業を行うこととなりました。



# YCC Hot Information

## TOPIC 6

観光マネジメント学科の竹田ゼミが、老舗遊園地サントピアワールドの四角いシュークリームで販売実習をおこないました

5月30日(水)本学カフェテリアで、観光マネジメント学科監修のもと竹田ゼミの学生たちが、新潟県阿賀野市にある老舗遊園地「サントピアワールド」で販売している「四角いシュークリーム」で販売実習をおこないました。



観光マネジメント学科では

本学が取り組む総合教養教育の環として、地域の特産品の販売を通じ、商学の学びを実践しています。竹田ゼミの学生たちは、四角いシュークリームがサントピアワールドで販売された背景や、学生自ら納品から販売に至るまでの一連の商売の流れを実践し、商学についての理解を深めました。



## TOPIC 7

「横浜商科大学の収容定員の増加に係る学則変更」が認可されました

5年8月30日、文部科学省より「横浜商科大学の収容定員の増加に係る学則変更」が、認可されましたことをお知らせいたします。これにより、収容定員1340名となりました。今回の認可をうけ、令和6年度商学科の募集定員は180名となります。

## TOPIC 8

浙江工商大学と「学術文化交流に関する協定」を締結

12月5日(火)、横浜商科大学と浙江工商大学との「学術文化交流に関する協定」の調印式が挙行されました。調印式には、浙江工商大学より副学長趙英軍氏他4名、本学からは羽田功副学長他4名が出席しました。この協定の締結により両大学の文化交流を強化し、教学と学術の協力体制を促進することを目的に、今後は学生及び教職員の相互派遣や相互の研究活動の推進等について協議を進めてまいります。



## TOPIC 9

地域の子どもたちと清掃活動に取り組む「ラグビー部が「みどりサンプラージュ」に参加

12月10日(日)「みどりサンプラージュ」が開催され、本学からはラグビーフットボール部に所属する学生6名が参加しました。このイベントは、横浜市緑区が毎年実施している活動で、ごみ拾いによる美化活動と



環境について学が啓発活動をおこなっています。参加者は、横浜市緑区の小学生と区内にキャンパスのある東洋英和女学院大学、東京工業大学、横浜創英大学、横浜商科大学の学生。参加者は赤い「サンプラージュ」かぶり、中山駅周辺と緑区市民活動支援センター「みどり」で活動を行いました。

子どもたちに向けた学生たちからの呼びかけに、子どもたちが楽しみながら環境について学んでいる様子が印象的でした。



## 新任教員紹介

### 令和5年度 新任教員紹介

本学に着任された先生方をご紹介します。  
※五十音順です。役職等は令和5年度入職時のものを記載しています。



准教授 久保 輝幸  
【研究分野】  
科学史、医学史



教授 田中 辰雄  
【研究分野】  
情報通信産業の産業組織論



教授 原 郁代  
【研究分野】  
財務会計論・企業法

## 横浜商科大学 令和4年度決算および令和5年度予算

### 事業活動収支計算書

(単位：千円)

		令和4年度 決算	令和5年度 予算	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金	1,418,099	1,467,979
		手数料	22,637	30,280
		寄付金	13,625	5,000
		経常費等補助金	152,178	130,150
		付随事業収入	25,281	28,360
		雑収入	36,138	37,180
		教育活動収入計	1,667,958	1,698,949
	支出	人件費	810,518	874,908
		教育研究経費	571,683	650,153
		管理経費	196,018	205,679
教育活動支出計		1,578,219	1,730,740	
教育活動収支差額		89,739	△ 31,791	
教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	39,956	45,000
		教育活動外収入計	39,956	45,000
	支出	借入金等利息	3,380	3,380
		教育活動外支出計	3,380	3,380
教育活動外収支差額		36,576	41,620	
経常収支差額		126,315	9,829	
特別収支	収入	資産売却差額	48,226	10,000
		その他の特別収入	5,885	0
		特別収入計	54,111	10,000
	支出	資産処分差額	72,688	10,000
		その他の特別支出	0	0
		特別支出計	72,688	10,000
特別収支差額		△ 18,577	0	
〔予備費〕			5,000	
基本金組入前当年度収支差額		107,738	4,829	
基本金組入額合計		△ 537,968	△ 176,817	
当年度収支差額		△ 430,230	△ 171,988	
前年度繰越収支差額		△ 1,270,414	△ 1,942,173	
基本金取崩額		0	0	
翌年度繰越収支差額		△ 1,700,644	△ 2,114,161	
(参考)				
事業活動収入計		1,762,025	1,753,949	
事業活動支出計		1,654,287	1,749,120	

### 資金収支計算書

(単位：千円)

	令和4年度 決算	令和5年度 予算
収入の部		
学生生徒等納付金収入	1,418,099	1,467,979
手数料収入	22,637	30,280
寄付金収入	13,655	4,500
補助金収入	152,731	130,150
資産売却収入	833,405	663,000
付随事業・収益事業収入	25,281	28,360
受取利息・配当金収入	39,956	45,000
雑収入	36,129	37,180
前受金収入	553,640	433,550
その他の収入	493,189	541,164
資金収入調整勘定	△ 486,369	△ 430,340
前年度繰越支払資金	977,119	1,356,886
収入の部 合計	4,079,472	4,307,709
支出の部		
人件費支出	807,147	839,562
教育研究経費支出	455,201	534,750
管理経費支出	184,816	192,981
借入金等利息支出	3,380	3,380
借入金等返済支出	38,220	38,220
施設関係支出	370,343	43,790
設備関係支出	40,842	75,111
資産運用支出	1,492,879	502,000
その他の支出	357,250	321,000
資金支出調整勘定	△ 84,493	△ 148,353
〔予備費〕		5,000
翌年度繰越支払資金	413,887	1,900,268
支出の部 合計	4,079,472	4,307,709

令和5年3月31日現在

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	11,707,415	固定負債	965,194
流動資産	462,245	流動負債	707,101
		基本金	12,198,009
		繰越収支差額	△ 1,700,644
資産の部合計	12,169,660	負債及び純資産の部合計	12,169,660